

多様な人的資本と研究開発等による 「価値創造」の実現

平成24年5月29日
経 済 産 業 省

多様な人的資本による「価値創造」の実現①

1. 多様性によるイノベーションの創出 (ダイバーシティ・マネジメント)

○ 女性活躍促進に向けた具体的な取り組み

女性就労の「量的拡大」 活躍する女性のすそ野を広げる 女性就労の「質の向上」

相乗効果

↓キャリアアップのロールモデルの提供

子育て支援 サービスへの多様な主体の参入 職場におけるワークライフバランスの推進 ダイバーシティ経営100選の創出 企業における女性活躍推進の見える化

女性の就業促進に向けた社会システム変革

※「経済社会課題対応事業の促進に関する法律」により、女性の就業支援にも資する事業を支援。

○ 外国人による経営促進に向けた取り組み

・「アジア拠点化・対日投資促進プログラム」に基づき外国人経営者の呼び込みも実施。

2. 「価値創造」をリードする人材が育つ環境作り (イノベーション人材、グローバル人材等)

○ イノベーション人材発掘プラットフォーム

・ベンチャーに挑戦する人材を鍛え、異分野の知識や人材との融合により、マーケット志向で新事業を創出する「場」の創設。

○ 教育投資の拡大

・祖父母世代から孫世代への教育資金の積立・資産移転の促進。

○ 産学連携によるイノベーション創出人材

・修士・博士課程、ポストドクターの中長期インターンシップの枠組の構築
・大学改革を伴う世界的な産学連携拠点の形成。

○ グローバル人材の育成に向けた取り組み

・海外の新興市場を開拓する人材の育成に向けた日本人若手の海外インターンシップの本格化。

3. 若者の雇用促進(中小企業における就職促進等)

○ 若者中小企業就職促進プログラム(3つのミスマッチと今後の方向性)

① タイミングのミスマッチ

- 多くの学生は、大企業の選考結果が出ないと中小企業には目が向かない。
- その時期には中小企業の採用に関する情報が学生に届かない。
- その結果、多くの中間層の学生の就職活動が長期化。

→各地域の実情に応じて、合同説明会、インターンシップ、学生・若手従業員交流会、中小企業におけるバイターン中小企業魅力発信バスツアーの実施 等

② 地域間のミスマッチ

- 大都市圏の大学に通う学生にとって、地方企業の情報が圧倒的に不足。
- 中小企業は、地元での採用活動だけでも手一杯。

→U・Iターンを目的とした合同説明会の開催 等

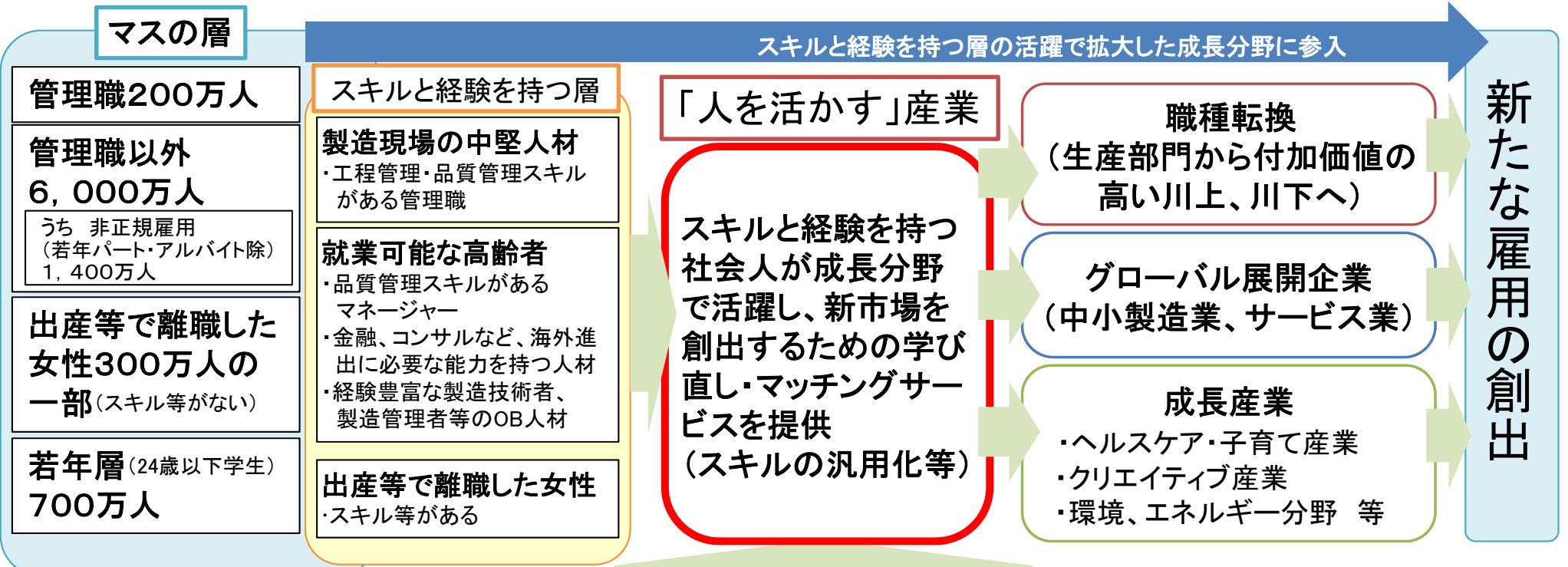
③ 職業観や能力に関するミスマッチ

- 大学生のキャリア意識や企業が求める社会人基礎力が不足しており、中小企業からの内定もとれない学生が多数存在。
- また、内定が取れても入社後の定着率が悪い。
- 職業観や能力の醸成に効果的なキャリア教育・長期インターンシップの場の欠如も一因。

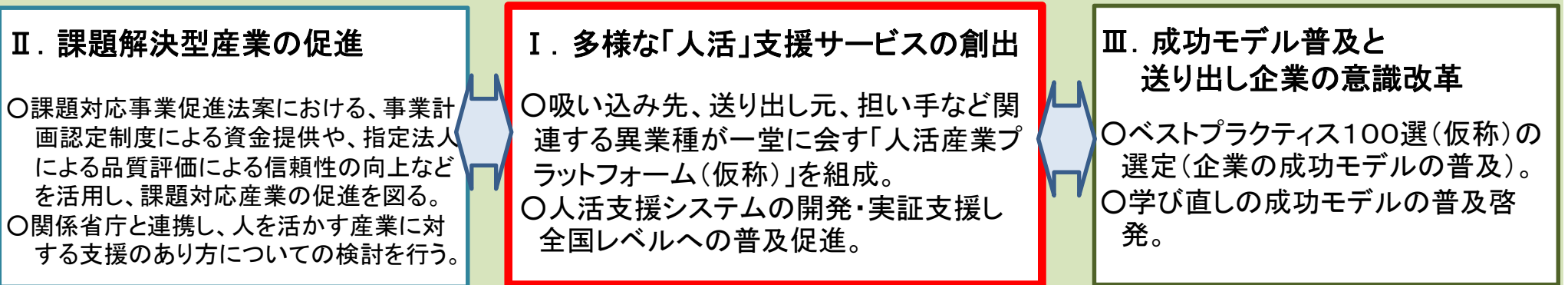
→教育効果の高い長期インターンシップ普及のための環境整備 等

多様な人的資本による「価値創造」の実現②

4. 「人を活かす」産業の創出・振興 (学び直しによる労働移動)



構造転換の担い手として関係省と連携して育成



研究開発等による「価値創造」の実現

1. 新産業を導く次世代技術の研究開発

基礎研究と実用化を念頭においた研究を一気通貫で進める仕組み
 (「未来開発研究」プロジェクト)

文部科学省と経済産業省の取組

省庁の枠を超えた連携

- 両省の合同検討会で、取り組むべき技術テーマを選定。
- 技術テーマ毎に、両省の研究内容、成果の扱いのすり合わせなどを行う、ガバニングボードを設置。

世界で勝てる産学官
 「ドリーム・チーム」の結成

- 護送船団的発想は排除し、勝てる企業を厳選。
- 知財は、我が国企業の競争力に資するよう適切に管理。

官民の集中投資
 へのコミットメント

- 厳正な評価を前提に、必要な予算を中長期的に確保。

高効率モーター

レアアースフリーの高効率モーターを開発しエネルギー損失を約25%削減。

人工光合成

石油を使用せず、CO₂と水から化学基幹品を製造。

光エレクトロニクス

基盤の光回線化により消費電力を大幅削減(サーバー電力を約3割削減)

(将来の課題解決を支える技術候補)

- ・エネルギー貯蔵・輸送技術
- ・未利用熱エネルギー
- ・高温超伝導
- ・構造材料 等

先端産業を強化する
 部素材・技術の研究開発

部素材の性能向上や製造工程の効率化等により、製品の高機能化やエネルギー効率、環境・消費者安全性の向上を達成。

革新鋼板の製造技術

高性能蓄電池材料

炭素繊維複合素材

チタン等の新部素材

省/脱 レアアース・レアメタル技術

三次元LSI等の次世代電子デバイス

インフラ輸出に資する研究開発

- ・石炭ガス化複合発電
- ・宇宙システム
- ・サイバーセキュリティ 等に関する研究開発。



政府大での取り組みへの拡大が必要

2. 先端産業、新産業の「成長のための戦略的取組」

① 次世代自動車

<具体的な取組>

- 次世代自動車の普及推進
- 車載用蓄電池の設備投資支援
- OV2H(Vehicle to Home)の導入支援・制度整備
- 充電器などの整備加速、情報技術との連携 等



② 航空宇宙産業

<具体的な取組>

- 人材育成等の経済協カツールの活用も含めたパッケージ提案等官民連携した海外展開
- リモートセンシング技術や準天頂衛星システムを活用したわが国産業の高度化 等



③ 部素材産業

<具体的な取組>

- 安全性・性能の評価及び実証の拠点整備や生産性向上のための共同設備投資
- 販路開拓や資源調達力強化につながる企業連携支援 等

レアアース磁石

電池材料



炭素繊維



炭素繊維



④ ヘルスケア産業

<具体的な取組>

- ものづくり技術を活かした医療機器の開発支援と、サービスと機器が一体となった海外展開
- デジタル化を通じた診療・治療プロセスの最適化に向けた開発・市場化
- 革新的医薬品や再生医療製品の製造に必要な周辺機器産業の強化 等



⑤ IT利活用の促進

<具体的な取組>

- 公共データ開放、データを活用した異分野融合産業の担い手支援(「IT融合フォーラム」の創設)による新事業創出
- 国際連携等による情報セキュリティ・ソフトウェアの信頼性の強化

